

ずしスポ推だより

第21号

令和7年度総会報告

四月十一日(金)令和7年度総会が逗子市役所会議室において開催され、令和6年度事業・決算報告、令和7年度の事業・予算計画は原案通り承認頂きました。

会長挨拶 (松井 弘喜)

令和7年度がスタートを切りました。今年度は少し違ってスタート直後に大きなイベント「スポーツの祭典」があり、皆さんの協力が必要となります。そのあとも大きな催し物が続き、年度末にはスポーツ推進委員神奈川大会が横三ブロックの横須賀市で開催されます。

今まではお客さんとして神奈川県大会に参加していましたが、今年度は神奈川県内の推進委員をお迎えする側になります。

参加していただく他市の委員さんに良かったと思っただけの大会にしたいですね。

そのためにも皆さんの協力が必要となりますので、よろしくご協力致します。

令和7年度の主な行事予定

3月	2月	1月	12月	11月	10月	6月	5月	4月									
下旬	15日(日)	未定	1日(日)	18日(日)	11日(日)	未定	6日(土)	23日(日)	13日・14日	3日(祝)	25日(土)	13日(祝)	27日・28日	9日(月)	1日(日)	17日(土)	11日(金)
みんなでお花見	第6回ポッチャ大会&体験会	スポ推実技研修会	県スポ推委員大会	スポ推実技研修会	逗子市内一周駅伝	スポ推自主事業	ふれあいフェスティバル	県スポ推研修会	全国スポ推研究協議会(長野)	池子の森マラソン	横三ブロック研修会(三浦市)	体力テスト会	関東スポ推研究大会	横三ブロック情報交換会	スポーツの祭典	スポ推実技研修会	スポ推(総会)

令和6年度の活動報告

第65回全国スポーツ推進委員研究協議会(宮崎大会)

十一月十四日(木)、十五日(金)の二日間、宮崎県宮崎市ひなた武道館に於いて、「既成概念からの脱却」(宮崎で共に創る新たなスポーツの世界)をテーマに開催され、十四日の表彰式では、小南さんが30年勤続スポーツ推進委員表彰を受けられました。



小南さん、おめでとうございます。

県スポーツ推進委員大会

二月八日(土)川崎市麻生市民館で開

催され、逗子からは七名が参加、逗子かの受賞者はいませんが、二四八名に功労者表彰、四名に感謝状が贈呈されました。

表彰式に先立つ基調講演では、日本ペップトーク普及協会の岩崎由純氏より「元氣・活気・勇気を引き出す言葉の力」を演題に、スポーツ選手が自身で力を発揮できる言葉や、指導者が選手に実力について、ポジティブ、否定しない、モチベーションを高める。をキーワードとした内容でした。

子育てや人間関係など日常生活の場面にも非常に参考となるトークで、参加者から好評を博していました。

(桜山 武藤 浩二)



実技研修会

六月十五日(土)逗子アリーナA面にてラジオ体操とコーンホールの実技研修を行いました。

ラジオ体操は従来のラジオ体操第一の動きですが、伸びの時は手をグーにして踵は上げない。腕を回すときは顔をなでるように。胸を反らす時は息を吸って手のひらをしっかりと反して・・・など一連の動きの中でも、ポイントを押さえると効果的に筋肉が使えることなど、ラジオ体操の新たな発見がありました。



伸びの時は手をグーにして・・・

コーンホールは布袋にトウモロコシの粒を詰めたビンバッグを約8m先のボードの穴に投げ入れるアメリカ生まれのゲームです。簡単なようで意外と難しく、ボードに乗せたりホールに入ると達成感

が有り、次も挑戦したくなりました。

(逗子 津久井 加代子)



ビンバッグは意外と重く、遠くまで飛ばすのが・・・

体力テスト会

十月十四日(祝)逗子アリーナで実施され、スポーツ推進委員37名が各種目の測定を担当しました。

毎年行われている為、各委員は例年担当している測定種目の所に自主的について参加者の記録を取って行きました。

今回の参加者は64才までは12人、65才以上は16人、就学前児は10人と、昨年よりも全般的に参加者が減って、特に子供の参加が少なかったです。

測定結果はコピーして参加者に渡しますが、大体の方は前年の記録を持って来ないので帰宅してからでないと記録を見比べて、体力が向上しているか、落ち

ているかが分からないし、そもそも記録が残っていない人もいられるかもしれません。

令和7年度の体力テスト会には記録を来年のテスト会に持参するよう呼び掛け、テスト会場内で向上しているか否かがすぐ分かる様にして、運動への取り組みの動機付けを持って貰えるようにしたいですね。

以前はうみかぜクラブの人達には毎年の記録が書き足せるカードを渡してましたが、今は行われていません。あの取り組みみたいな事が一般の人にも出来る方法があると良いのですが・・・

(久木 石渡 眞澄)



長座前屈 きついテストです「くっ〜！」

横三ブロック研修会

(葉山町担当)

十月二十六日(土)葉山小学校校体育館にてインディアカとソフトバレーボールの研修会が開催されました。



研修を終わって、皆さんお疲れさまでした

共にバレーボールとルールがほぼ同じ、4名一組のチーム編成でバドミントンコート、高さ約2メートルのネットを挟んで、サーブからレシーブ、トス、アタックで相手コートに返します。
インディアカは羽根つきのボールを手の平を使い打ち合うゲーム。ソフトバレーボールはボールが大きく軽く弾むので、想定外の方向に打球が飛びます。男女混合、初心者でもルールが覚えやすく、ラリーが続くとチームワークも出来、楽しみました。
(逗子 津久井 加代子)

スポーツの祭典

十月二十日(日)肌寒い曇り空の午前中から、晴れの広がった午後にかけて風は一層強まり、時折り突風の吹く中、第一運動公園で開催されました。

私は午前中はモルック。午後は、コインホールの担当でしたので両者について振り返ってみました。

モルックは、経験者及び初心者が約半分半分の参加で、再プレーする人も多く人気があったと思います。

ピツタリ50点取得する正規のルールでは一ゲームが長くなり、参加者の回転が進まず、30点先取のスタイルで実施となりました。50点を超えないようにピン(スキットル)を倒して行き、越えたら25点に戻ってやり直す本来の楽しさは、体験してもらえなかったですが、より多くの方々に参加して頂けたと思います。

コインホールは、未経験の方が多かったです。シンプルなルールであり、小さなお子様には投げる位置を近くに覚えて親子チームと友人チームなどの年齢差が有っても対戦出来る工夫をしてプレーを楽しんで頂きました。またこの日の横風でバッグが流される影響が多少ありました。

公園内には、キッチンカーが出ていましたが、従来の状況と比較すると並んで待つ状況は見られず、常に空いた状況だったので、気の毒に感じました。

(久木 宮崎 晋)



狙った所に・・・えい!

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)藤沢市の秋葉台文化体育館で、ワンバウンドふらばーボール(WB)とファミリーバドミントン(FB)の2種目の実技研修が行われ、逗子市からは、松井会長他3名が参加しました。

WBはバレーボール形式で柔らかいボールを打ち合う競技ですが、サーブ球はノーバウンドでレシーブして、相手からの返送球はワンバウンドでレシーブしなければならぬ所が、難しい所です。打ち返されたボールが目に来た時、ワンバウンドさせなければいけないのに反射的にレシーブしてしまい、アウトを取られる事が多々ありました。

FBはテニスボールにバドミントンのシャトルの羽根部分が付いた様なシャトルをラケットで打ちあう競技で、こちらもバドミ

ントンやテニスの時の様に、打ち下ろして返球したくなりますがNGで、ついやってしまうのが悲しい所です。



今までやってきたバレーボールや、バドミントンのルール変則版の競技に戸惑いながら、他地区の皆さんと一緒に楽しい汗をかいた一日でした。

シャトル



この後、打ち下ろしてしまっただか??

(久木 石渡 眞澄)

関東スポーツ推進委員 研究大会(千葉)

六月七日(金)・八日(土)の2日間で開催された田市十兵衛スポーツフィールド仲代体育館をメイン会場に開催され、「世代を超えスポーツで見つけよう! 私たちの未来そして夢」をテーマに関東各都県のスポーツ推進委員が一同に集まり、生涯スポーツの諸問題について研究協議する大会で、逗子からは松井会長、佐藤の2名が出席

しました。

大会1日目は表彰式と事例発表、基調講演があり、表彰式では逗子からは鈴木美枝子さん(久木)が表彰されました。

事例発表は、市川市の「ライフステージに応じたこれからのスポーツ活動」、我孫子市の「パラスポーツ・ユニバーサルスポーツへの取り組みと効果」についての話がありました。

基調講演は陸上200m日本記録保持者の末續慎吾氏による「メダリストが実践する生涯スポーツとは」の話がありました。

今回も大会2日は残念ながら所用で参加できませんでしたが、「ラジオ体操の効果」と「成田山を歩く」「手軽で楽しい健康づくり運動」の分科会が行われました。

(小坪 佐藤 千香)



鈴木さんは欠席だった為、アリーナで渡されました

第72回逗子市内一周駅伝大会

一月十二日(日)市内の8地域11団体の合計40チームにより開催。昨年はコース変更に伴った中継所の混乱も見られましたが、今年はそういった事もなく、各チームの精鋭が5区間21.7kmを軽快に走り抜けました。

レースは地域対抗の部では、1区・2区は新宿チームが区間新の快走で大きくリードしましたが、3区で小坪チームの三橋選手が首位を奪うと、4区の大久保選手もリードを守り、アンカーの安澤選手は区間新の快走で2位以下に大きく差をつけて、2年ぶりに小坪が優勝しました。またBチームも7位と健闘しました。



小坪チームの皆さん、おめでとうございます

今回の大会は、2位の池子チームと3位の久木チームも昨年の大会記録を更新して、全体的に大変レベルアップした大会で、小坪チームは昨年の区間エントリリーメンバーを敢えて変えないで臨みましたが、選手全員が昨年の自己タイムを大幅に更新して優勝しました。来年もさらにレベルアップして、大会記録を更新していきたいと思えます。

最後に今大会の為に尽力された逗子市スポーツ協会及び大会スタッフの皆様には、深く感謝申し上げます。
(小坪 飯田 博茂)

ボッチャ大会

三月十六日(日)、春雨の中、アリーナ内は熱気溢れた12チームが集合し、第5回ボッチャ大会&体験会の始まりです。

参加者はAとDコートに分かれ、それぞれのコートで勝率を決め、各コートで勝率の高かったチーム同士で戦い、順位を決めました。

Dコートでは小学生3人だけで参加した「チンパンジー」に勝利した、昨年2位の「チームクロア」と昨年3位の「チームリヨウマ」による強豪同士の代表を争う対戦が始まりました。そして、「チームリヨウマ」が3点リードされていた第5ゲーム。「チームリヨウマ」のポイントゲッターの母親が投じた青のカラーボールが何と！ジャックボールの上にあるスーパーショットで一挙4点の大逆転がおき、競技者や周りの人達もびっくりの楽しい試合でした。マイボールで練習し、競技に詳しい参加者も増えています。

運営側はルールを正しく把握し、市民が気軽に楽しめる競技として広める為、応援したいと思えます。
(久木 竹下 志浩)



Dコートでの熱戦が繰り広げられています



勝率上位のチームには賞品が...

編集後記

「スポーツ推進委員って何をやる人ですか？」よく聞かれた言葉ですが、この頃は「良くやってるね」と言う言葉も聞かれるようになりました。皆さんの行動によるものだと思います。さらにこの言葉が色々な所からあがる様にして行きたいですね。

(H. M)

広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・津久井加代子
松井弘喜・佐藤千香・高木 彰

発行/逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所/逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課
TEL/046-873-1111 (内線 277、278)
発行責任者/松井 弘喜